



神田外語大学が上級チューター育成プログラム実施機関として認定されました

～日本の大学では2校目～

神田外語大学ASC(アカデミックサクセスセンター)(千葉市美浜区/学長:宮内孝久)は、CRLA(College Reading & Learning Association)が発行するITTPC(International Tutor Training Program Certification)レベル1(Certified Tutor)の実施機関として認定されてきましたが、この度新たにレベル2(Advanced Tutor)の認定を受けました。多くの高等教育機関が注目するピアチュータリングの、国内における牽引的实施機関として、今後も教育内容の一層の充実を目指します。



ITTPC(※1) レベル1・2の認定証



チュータリングセッションの風景

神田外語大学ASC(アカデミックサクセスセンター)は、学生たちが互いに学業全般において成功を収められるよう、協働学習および個々のニーズに応じた指導を通じて、学問的な知識を深め、高度な技術を身につけるための機会を提供する学習機関です。2017年に発足以来ピアチュータープログラム(※2)に取り組み、これまでもITTPCレベル1(Certified Tutor)の実施機関として認定されてきましたが、この度新たにレベル2(Advanced Tutor)の認定を受けました。2～4年次の学部生であるチューターたちは、日々チュータリングセッションの運営と研修に励んでいます。一定の研修課程を修了し、指定されたチュータリング時間数(各レベル25時間以上)を実施したチューターに対し、ASCよりITTPCの認定証を発行しています。

近年日本においても大きく注目されているピアチュータリングは、大学をはじめさまざまな高等教育機関によって導入が進められています。ピアチュータリングの最大の特徴は、学生が学生の学習を支援することであり、同じ立場であるからこそ対話と協力を通じた学習が展開されます。他者の学びを支援する側の学生(チューター)にとっては、リーダーシップやコミュニケーション能力の向上に加え、自己の知識がより豊富になることが期待されています。また、支援される側の学生(チューティー)にとっては、チューターから受けるさまざまな刺激や働きかけを通し、学習事項の段階的な理解が期待されるばかりではなく、能動的な姿勢や考える力の育成など、多様な好影響が期待されています。

ASCのピアチュータープログラムでは、主に英文法理解度の強化とTOEFL®及びTOEIC®のスコアアップを目的としたチュータリングを実施しており、英語運用能力向上はもちろんのこと、自ら学び、考え、生涯にわたり成長していくための力と姿勢の育成も目指しています。また、学びを促すためのファシリテーション能力やリーダーシップは、近年社会でも広く求められており、こうした取り組みは教育と社会貢献の一環としてプログラムでも位置付けられています。

※1 ITTPC(International Tutor Training Program Certification):

高等教育機関で学習支援に取り組むスタッフの質を国際標準化することを目的として、米国に本部をおく研究学会CRLA(College Reading & Learning Association)が実施している認定制度



※2 ピアチュータープログラム: 学習支援をするチューター(2~4年次の学部生)と、支援を受けるチューティー(1~2年次の学部生)が週に一度集まり、共に英語学習に取り組むことにより、継続的にモチベーションと英語運用能力を高めることを目指す課外プログラム

◆参考リンク

【神田外語大学ASC(アカデミックサクセスセンター)】

<https://kuis.kandagaigo.ac.jp/asc/>

【神田外語大学ピアチュータープログラム】

<https://kuis.kandagaigo.ac.jp/asc/tutor/>

【CRLA(College Reading & Learning Association)】

<https://www.crla.net/>

※本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園 グループコミュニケーション部 三上山

TEL:03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 MAIL:media@kandagaigo.ac.jp

